

2011年

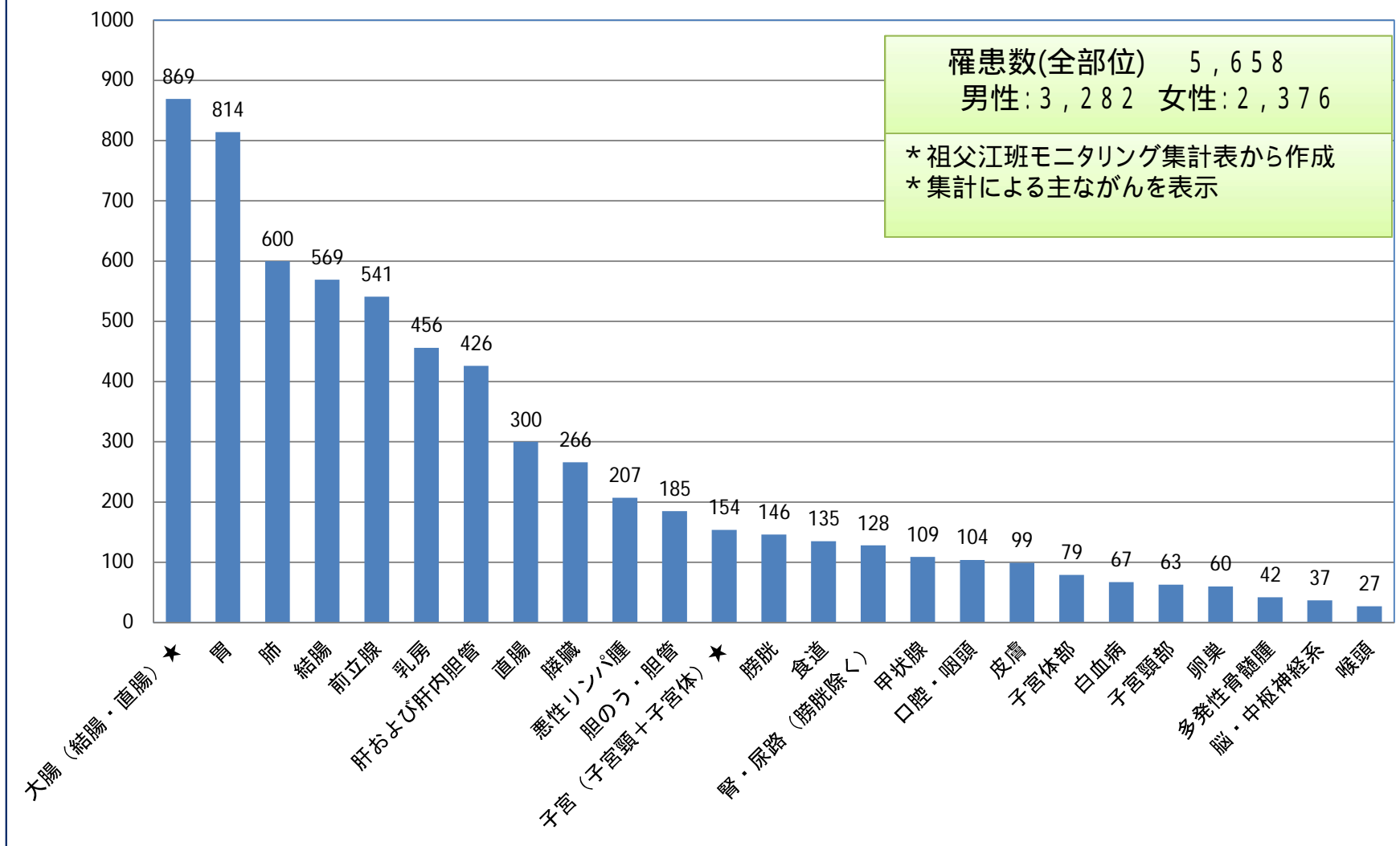
山梨県がん罹患
集計結果

(確定値)

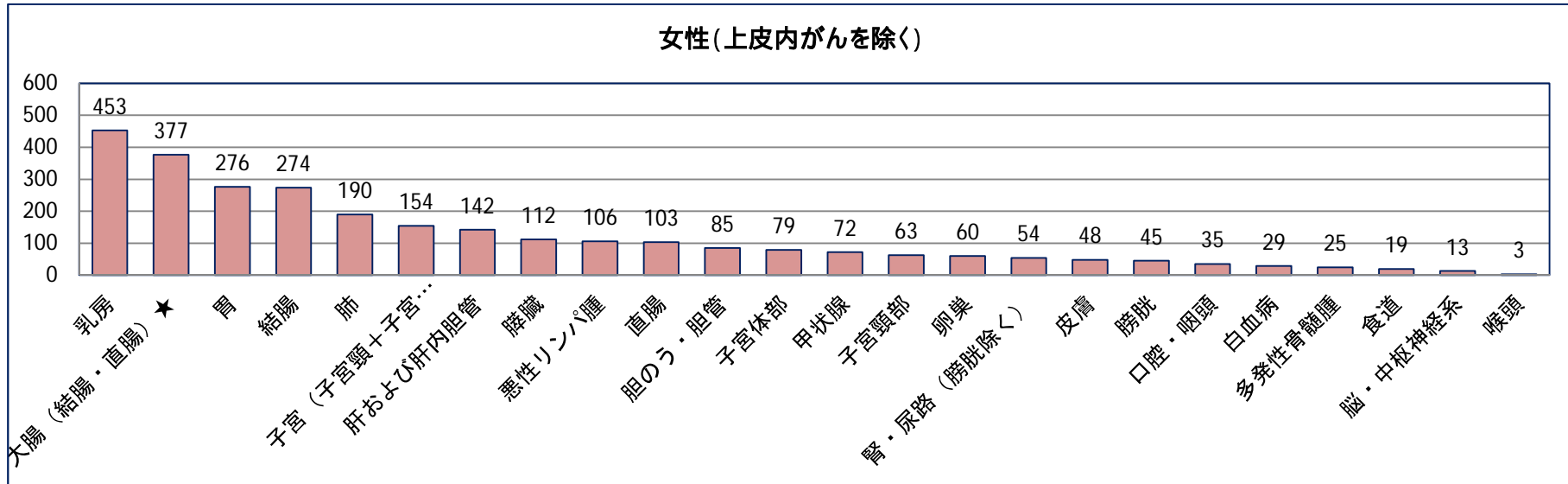
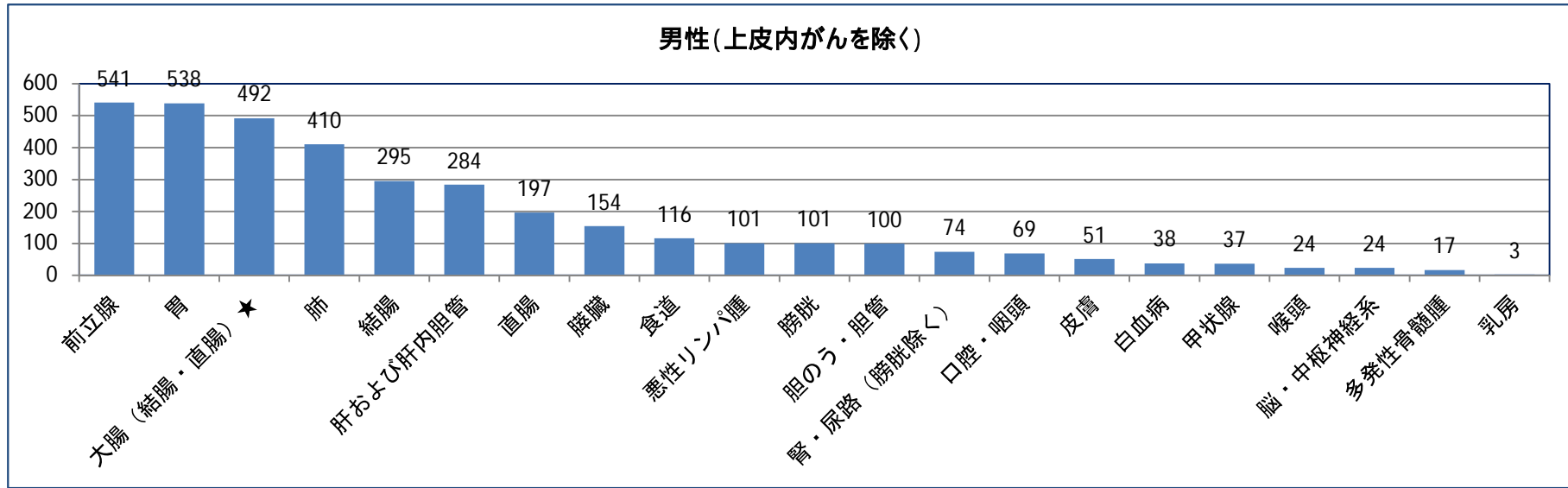
2014年9月集計

A 2011年山梨県がん罹患数(全体)(件)

(上皮内がんを除く)

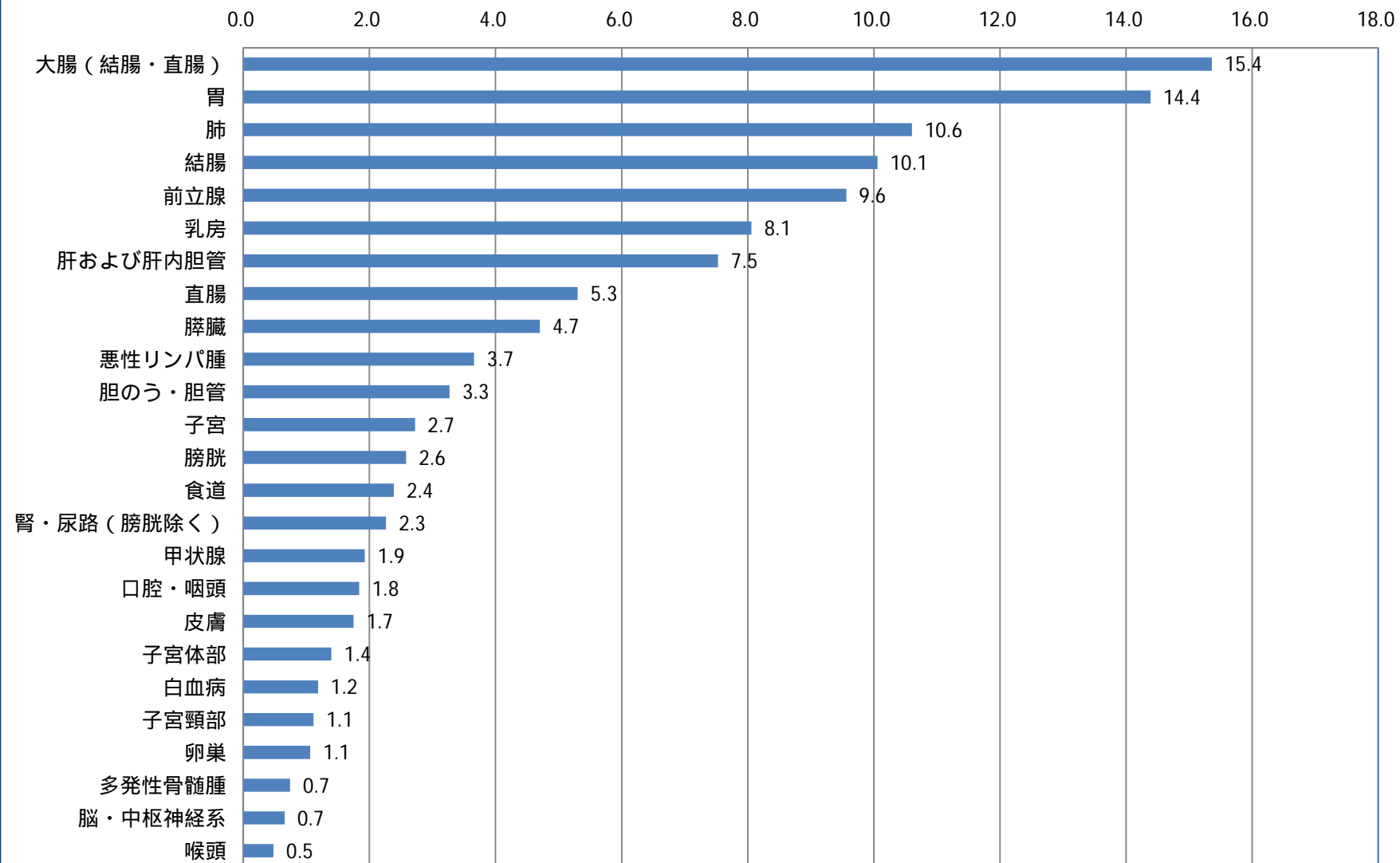


B 男女別・部位別罹患数(件)

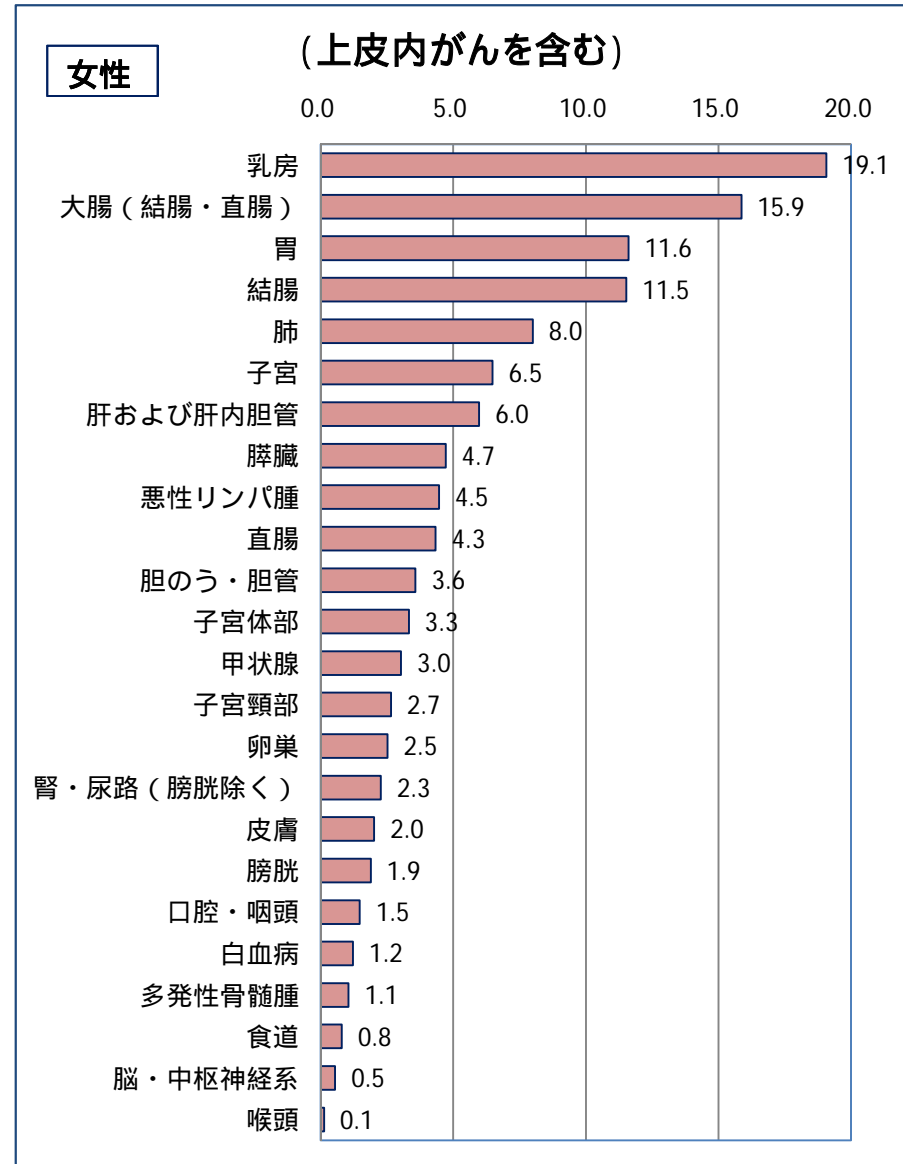
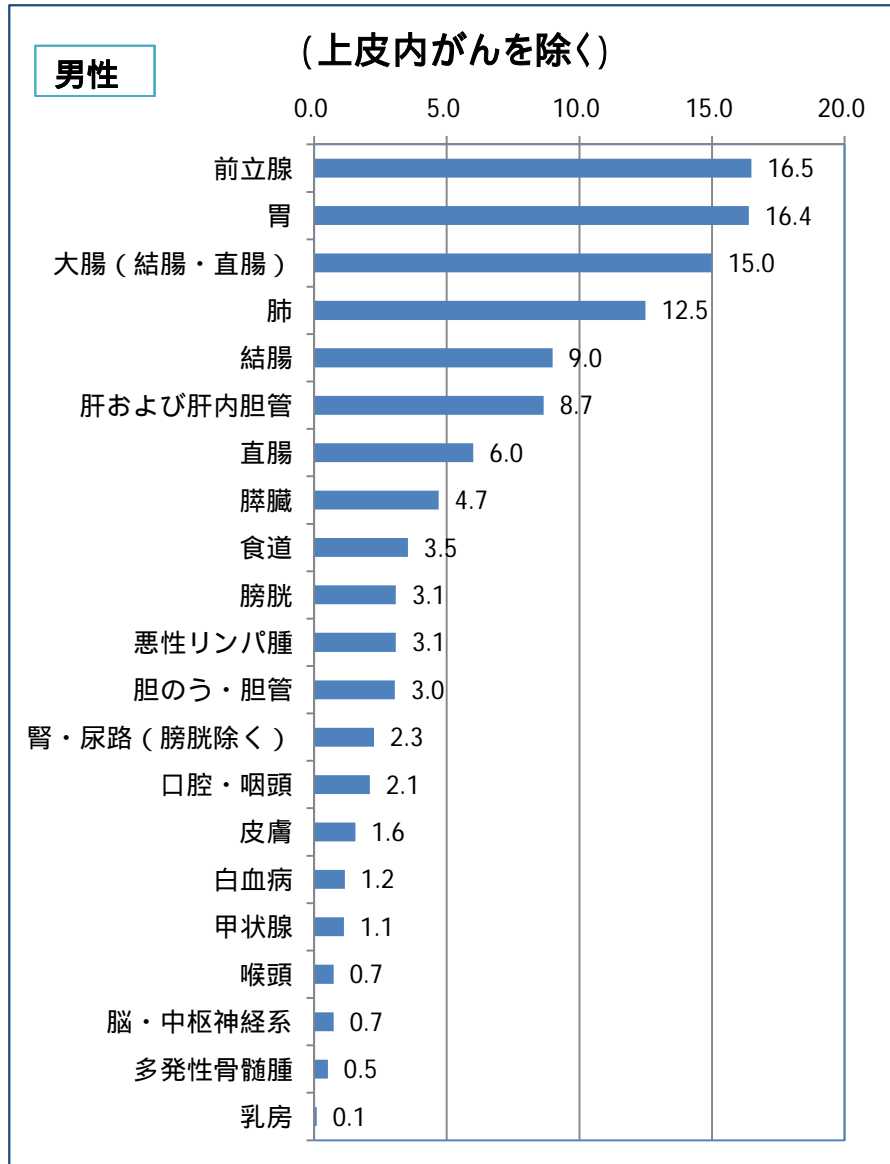


C - 1 罹患割合 (%)・全体

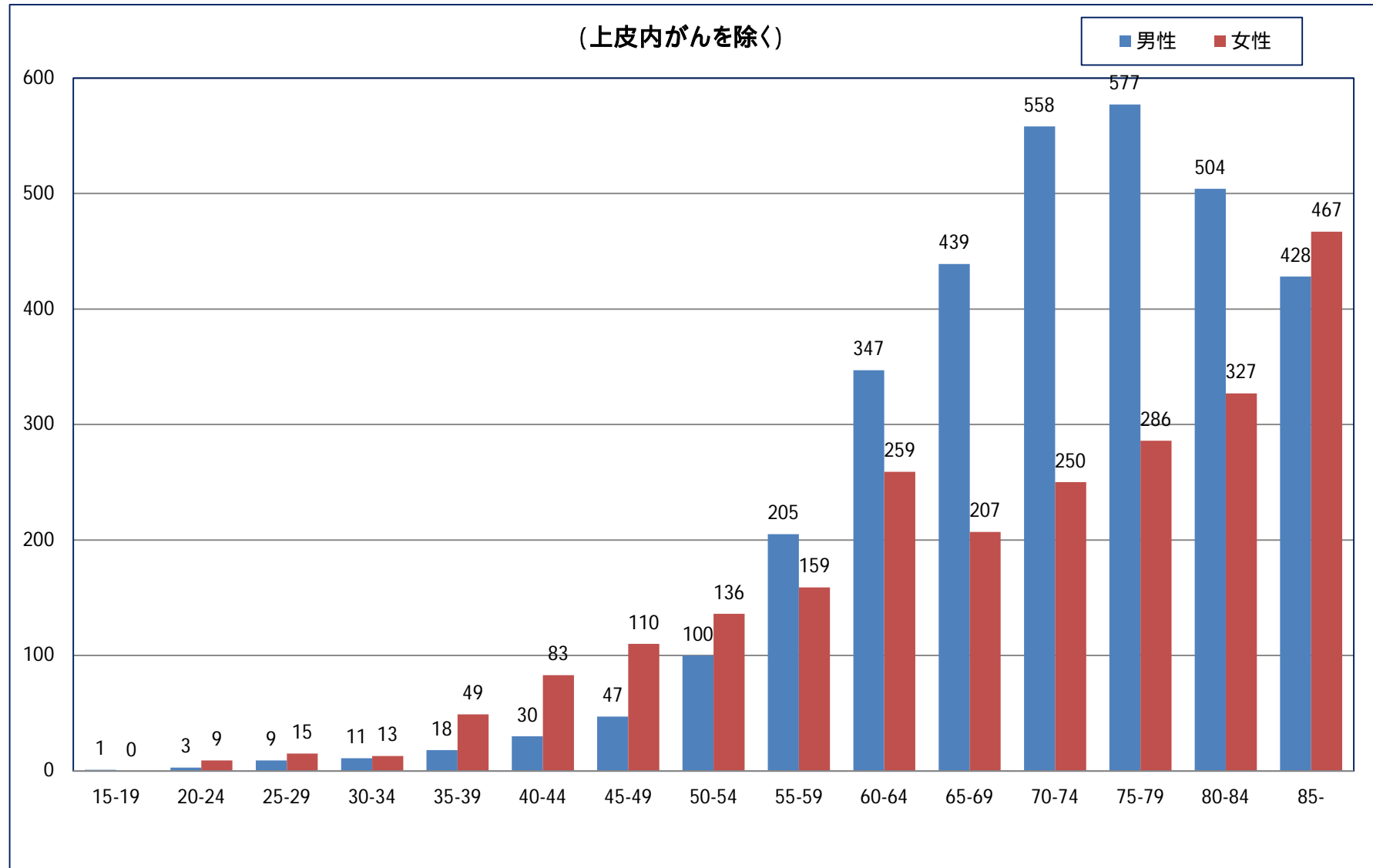
(上皮内がんを除く)



C - 2 罹患割合・男女別 (%)

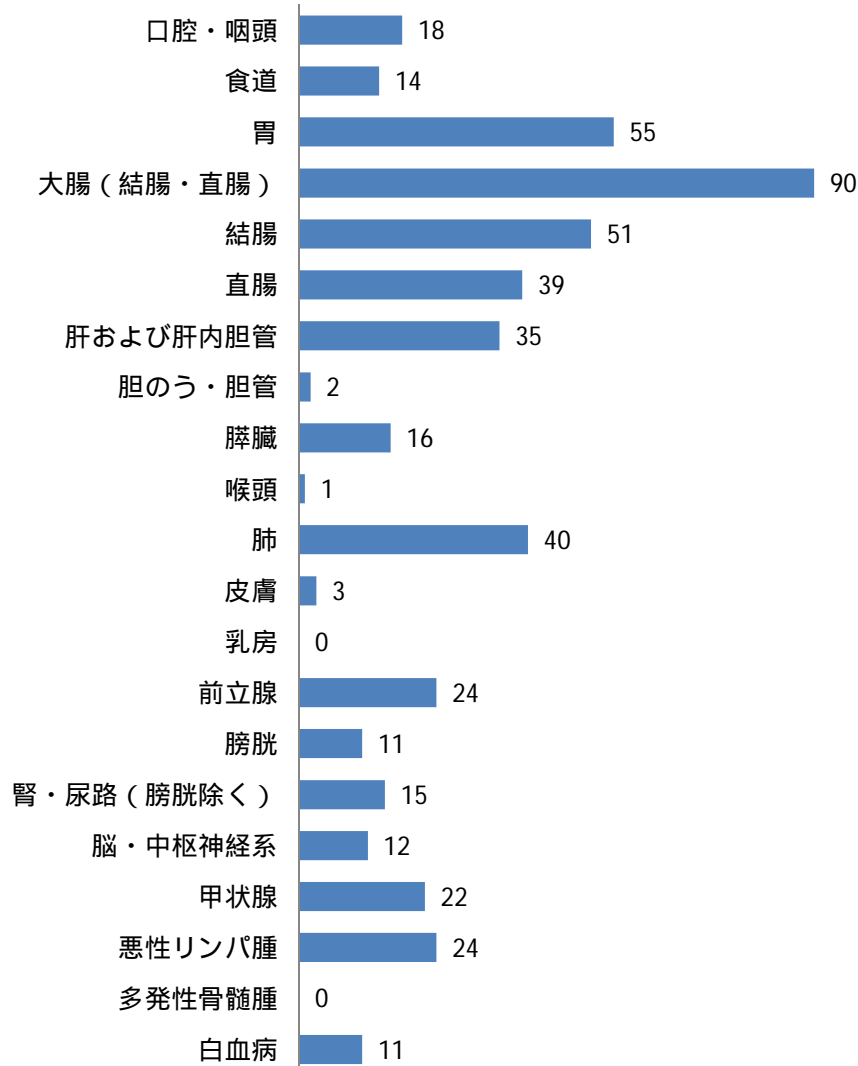


D-1 年齢階級別・男女別罹患数(件)

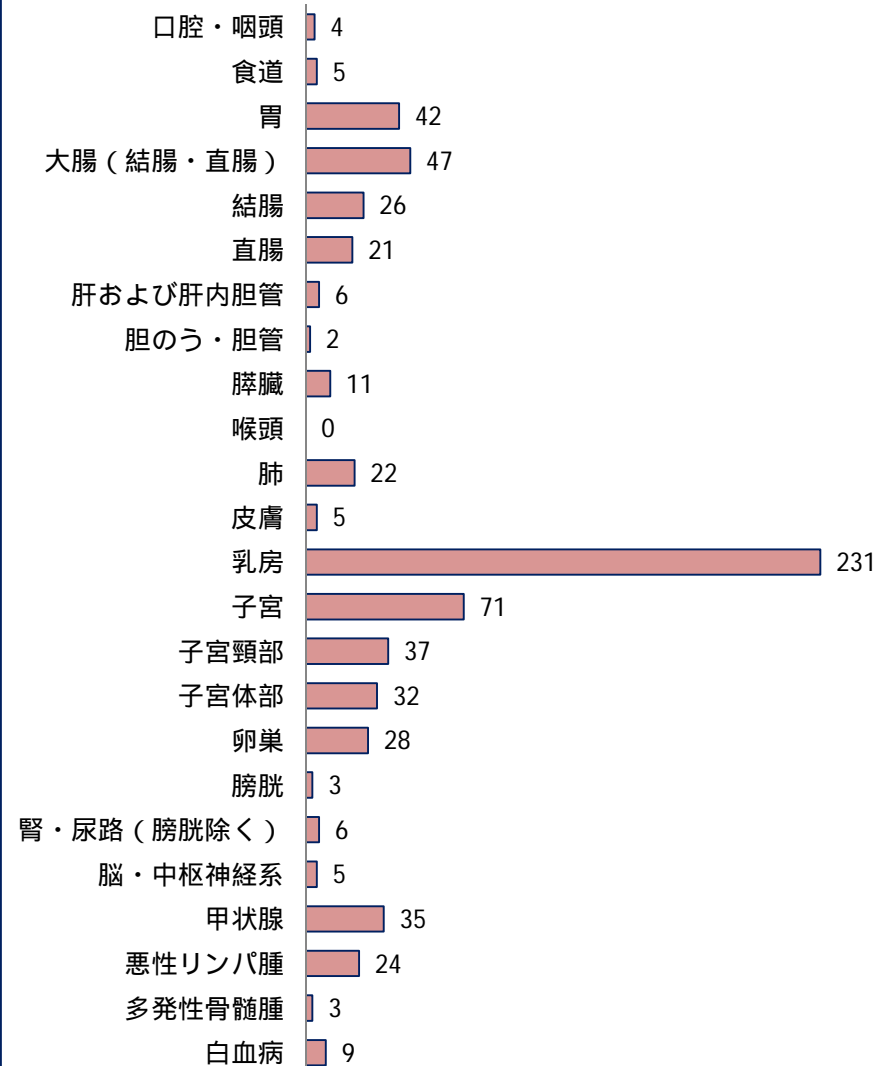


D - 2 年齢別・部位別罹患数 / 20歳～59歳(件)

男性20-59歳 423件(上皮内がんを除く)

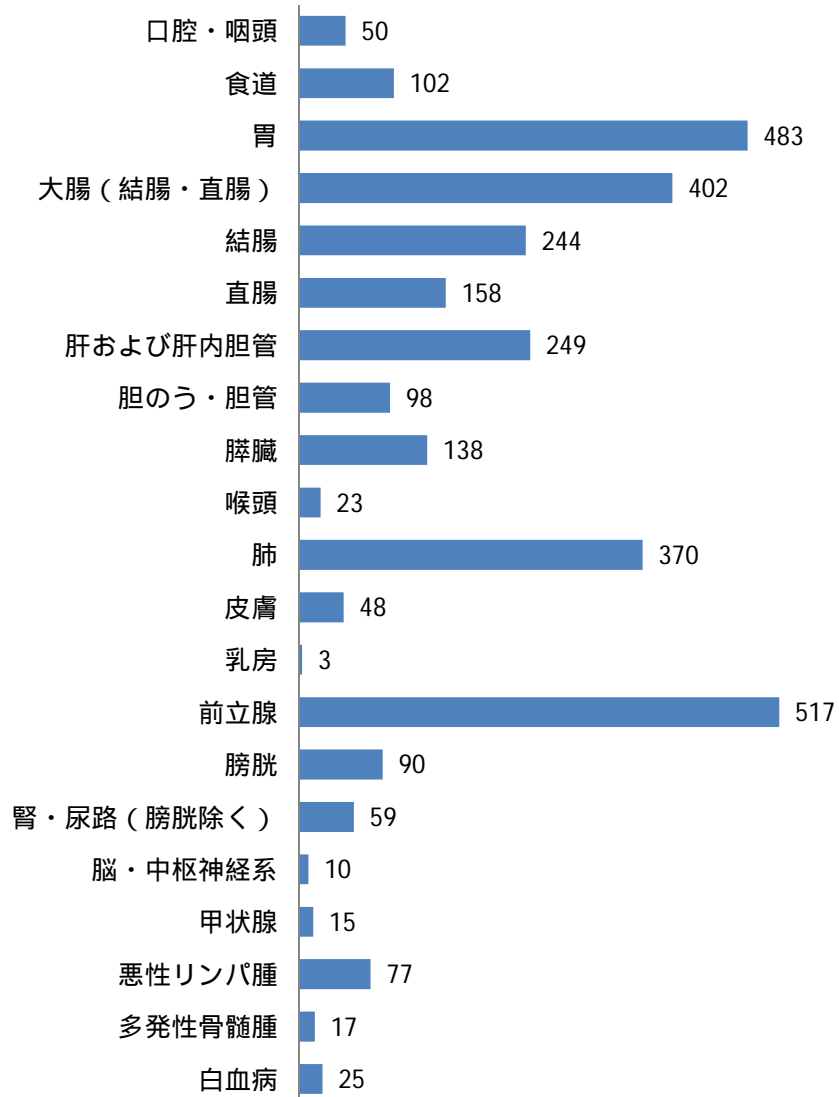


女性20-59歳 574件(上皮内がんを除く)

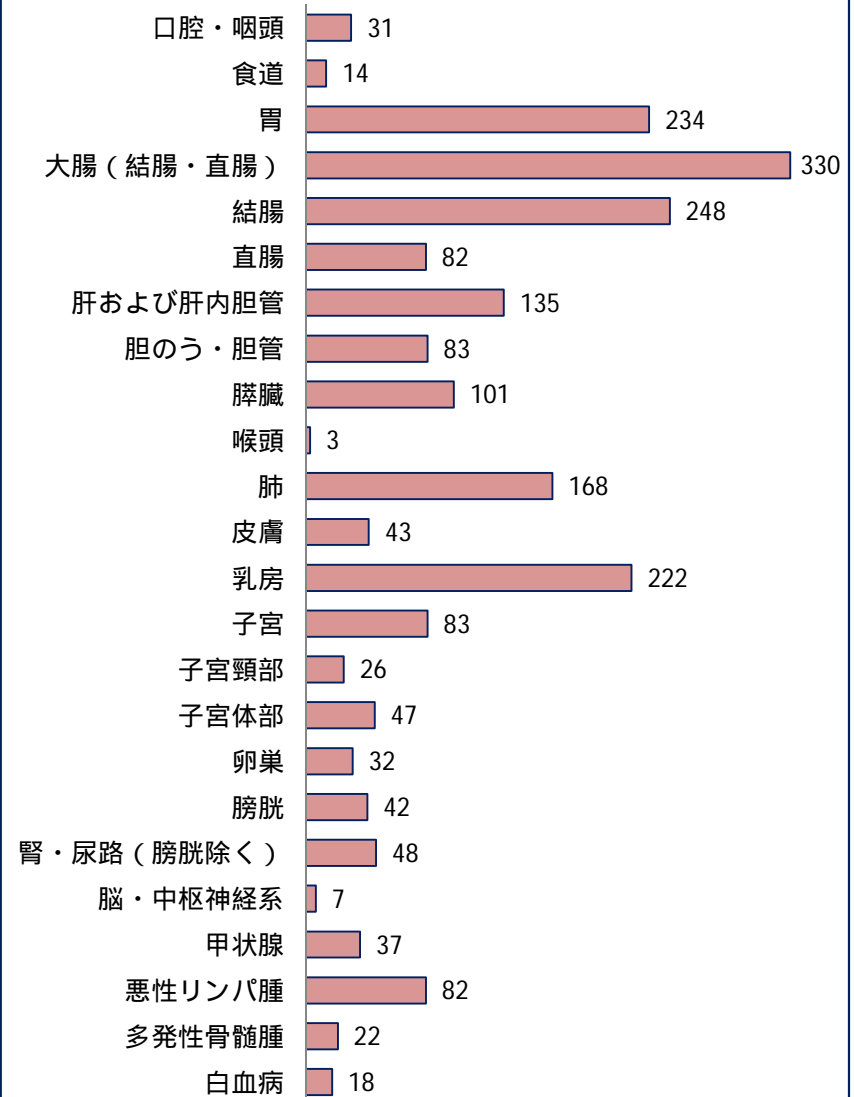


D - 3 年齢別・部位別罹患数 / 60歳以上(件)

男性60歳- 2853件(上皮内がんを除く)

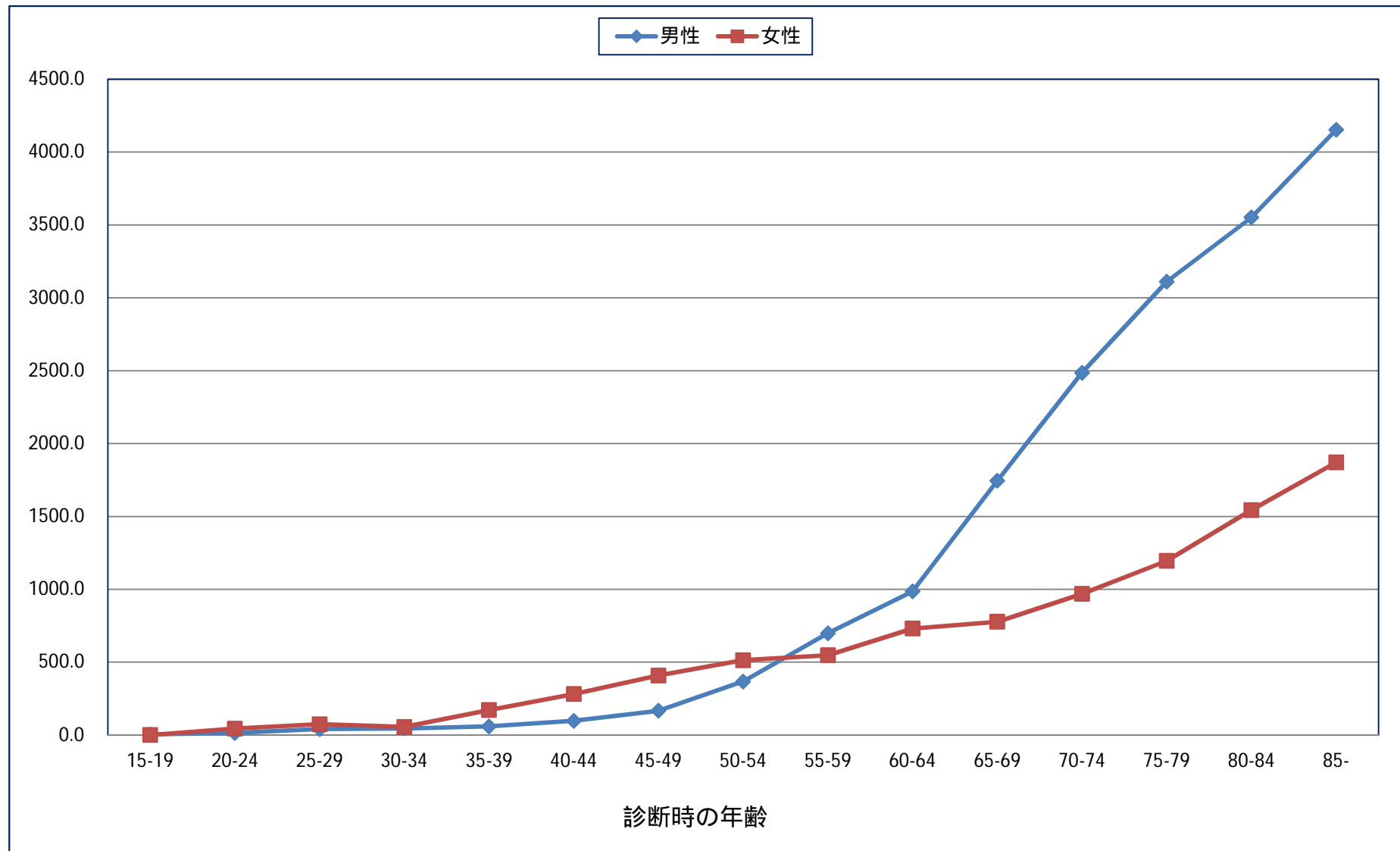


女性60歳- 1796件(上皮内がんを除く)

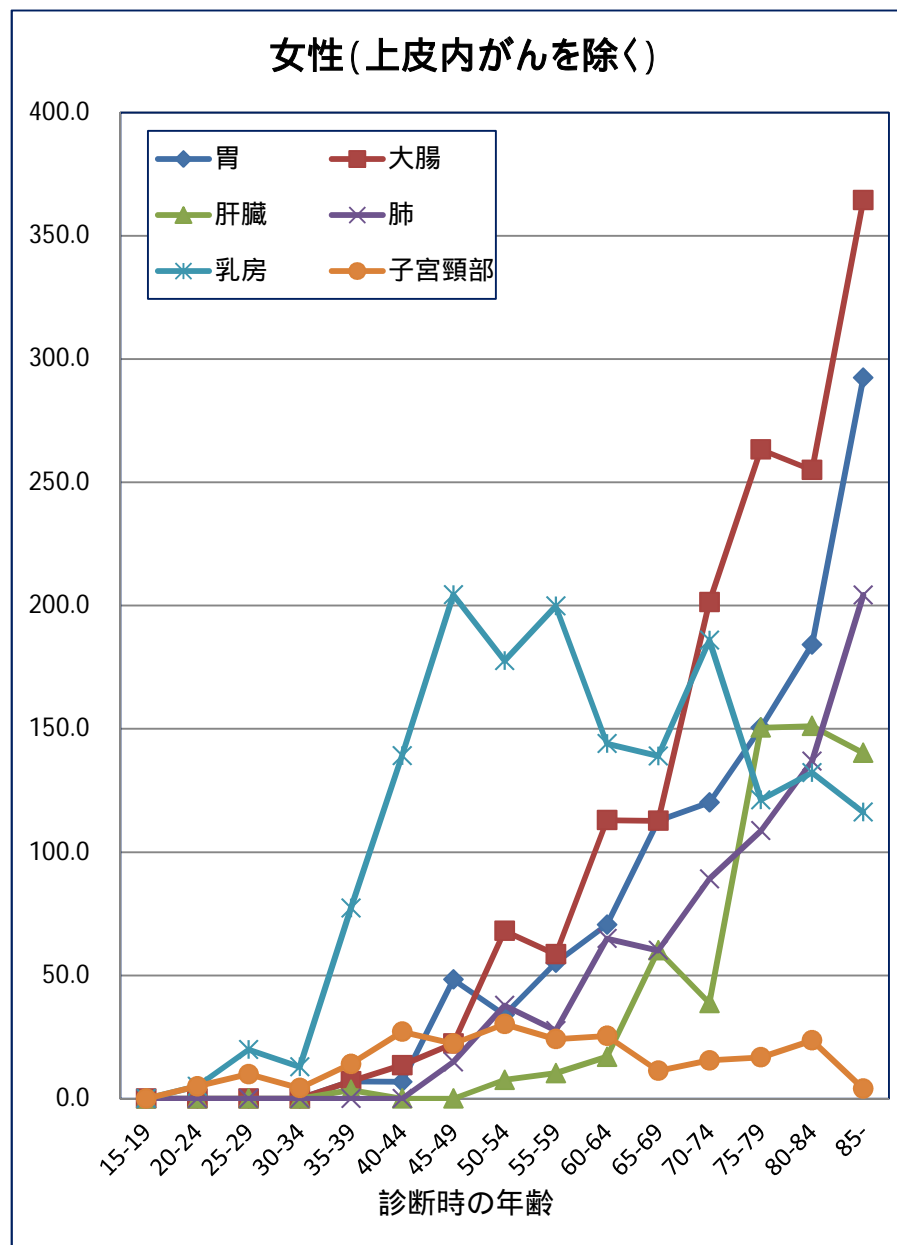
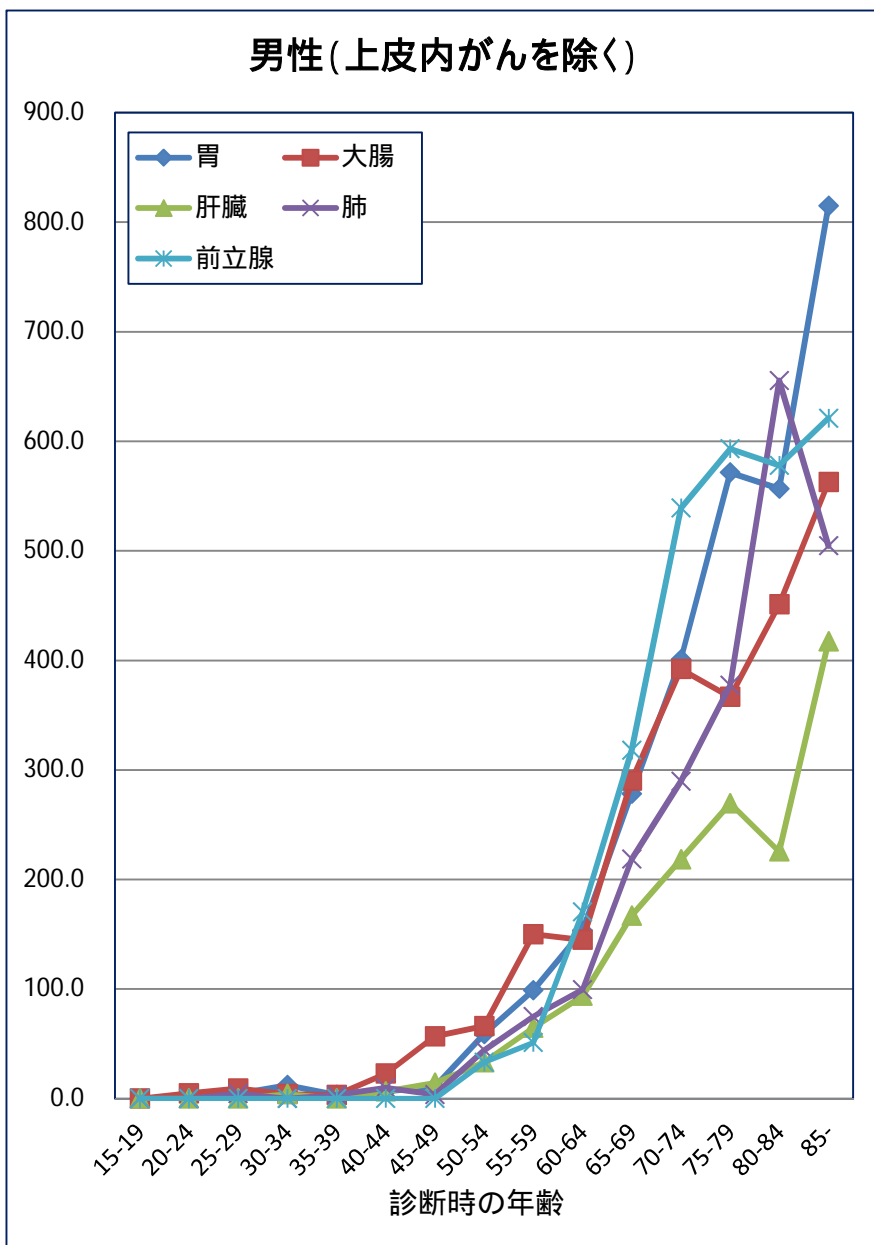


E - 1 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

全部位(上皮内がんを除く)

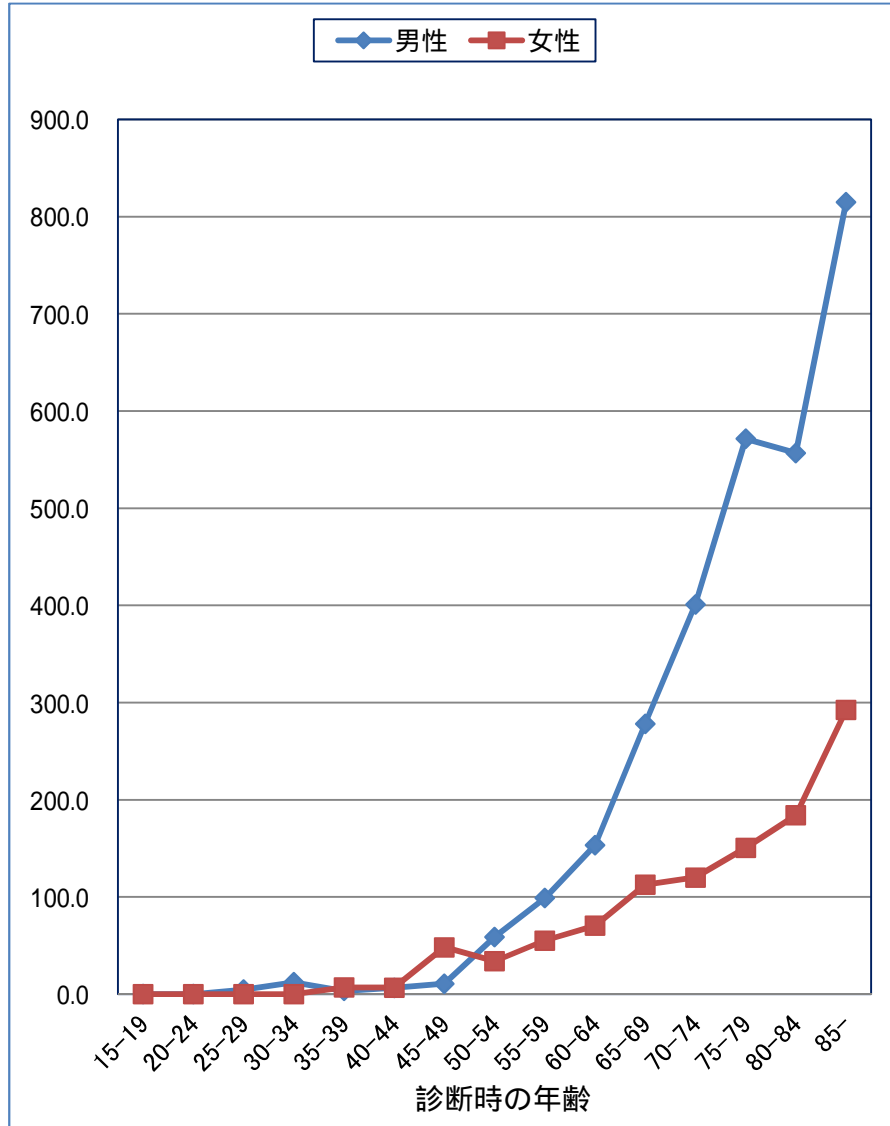


E - 2 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

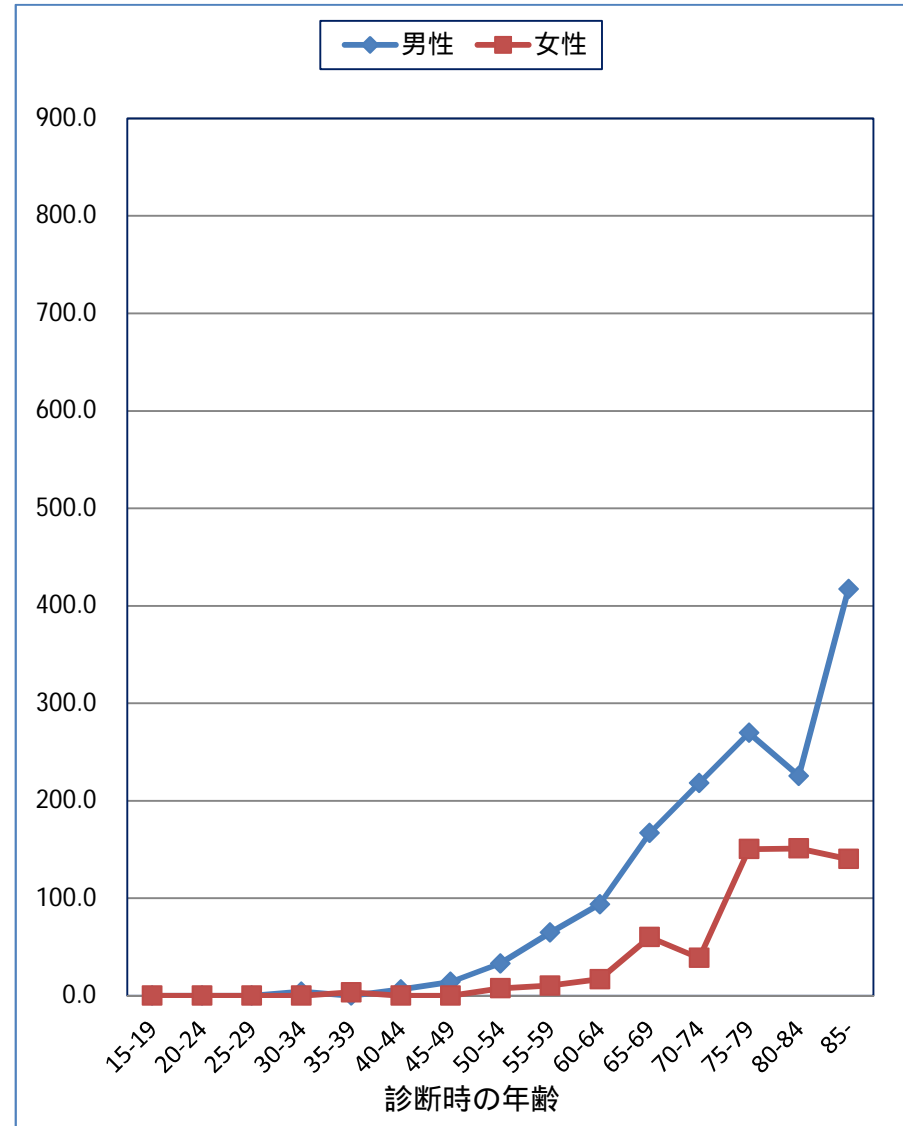


E - 3 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

胃がん(上皮内がんを除く)



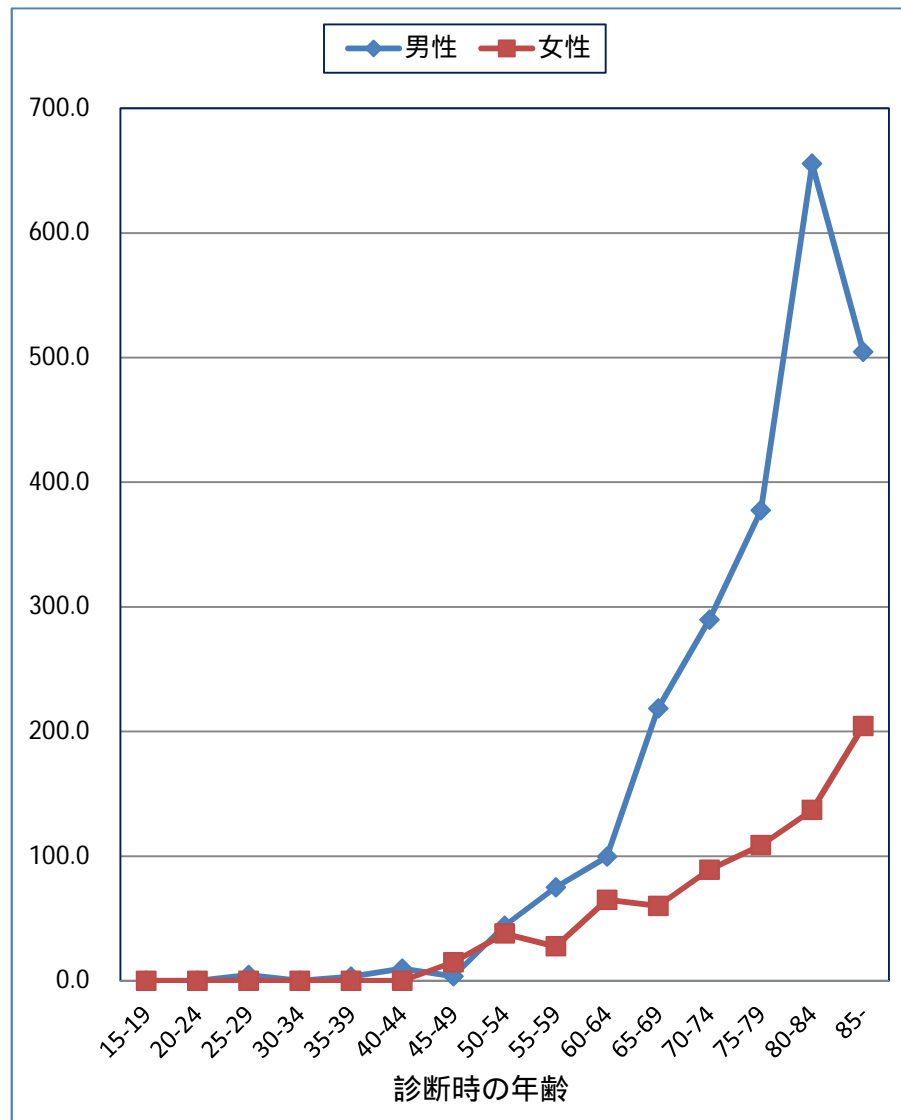
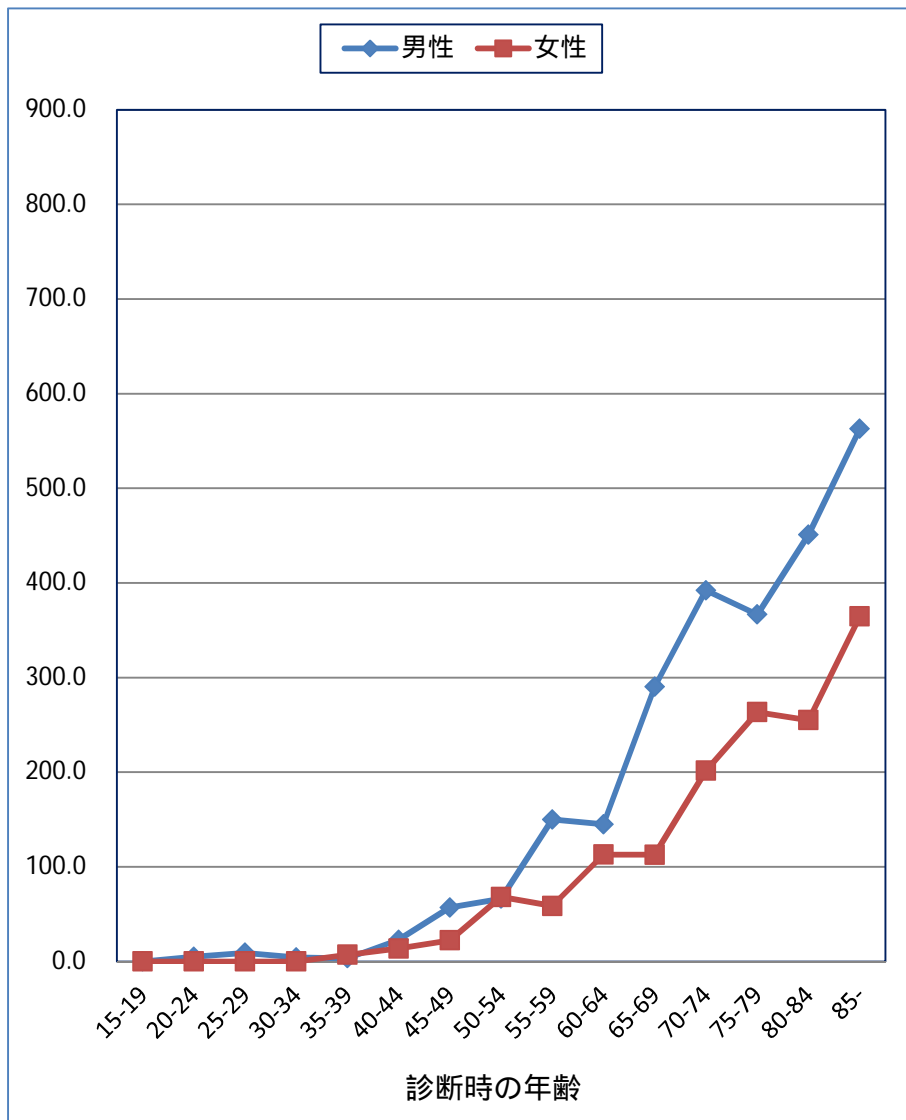
肝がん(上皮内がんを除く)



E - 4 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

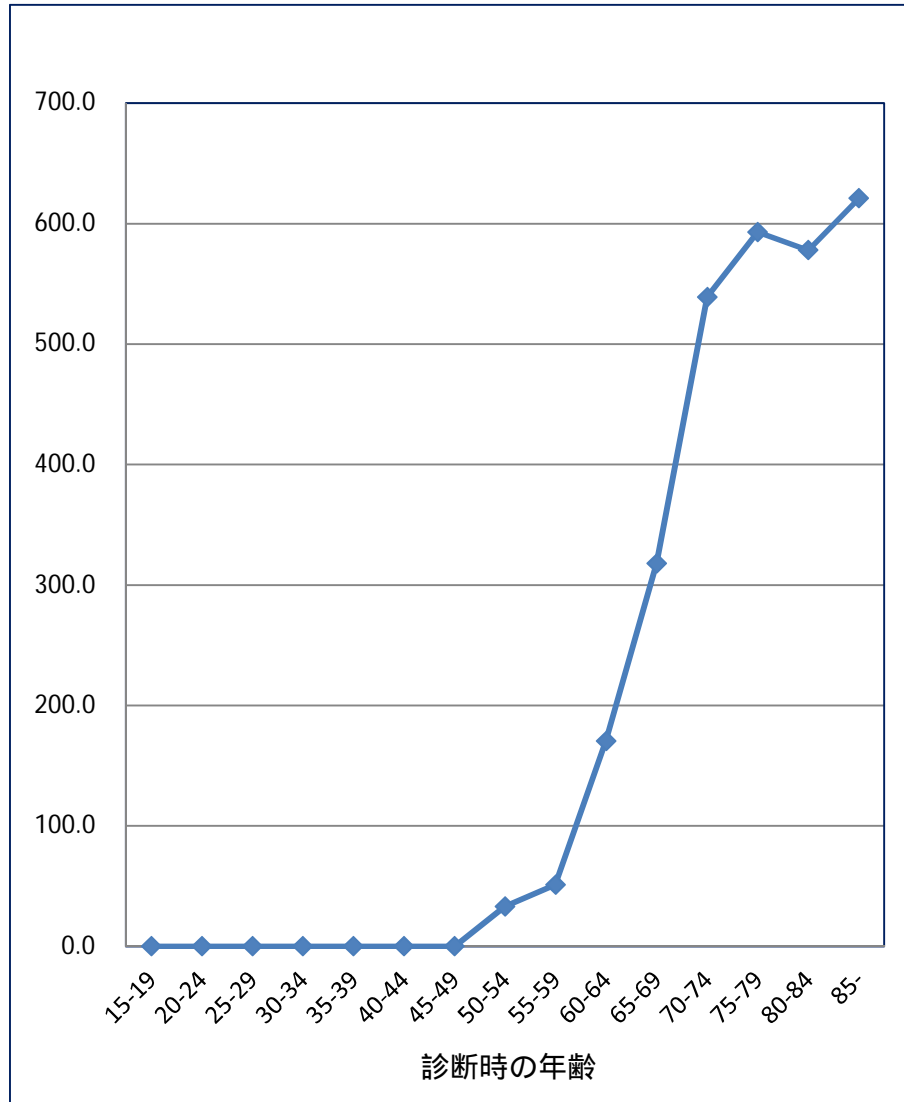
大腸がん(上皮内がんを除く)

肺がん(上皮内がんを除く)

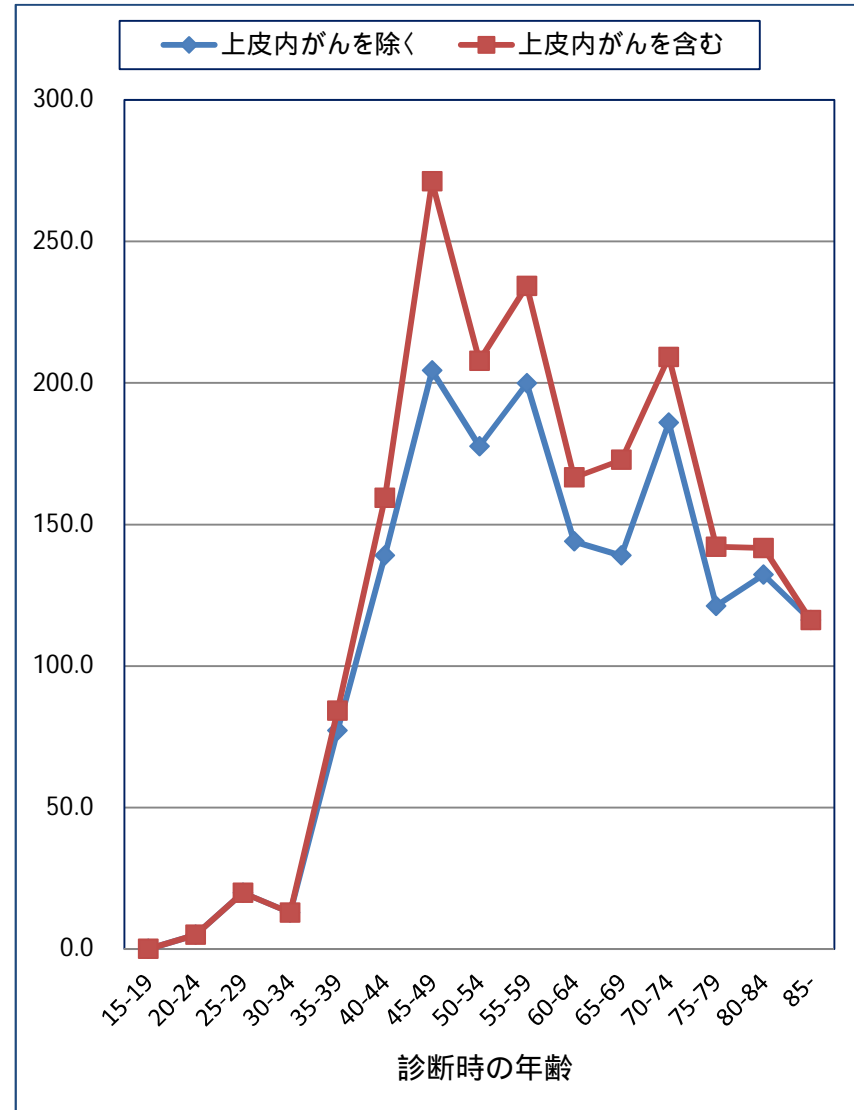


E - 5 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

前立腺がん(上皮内がんを除く)

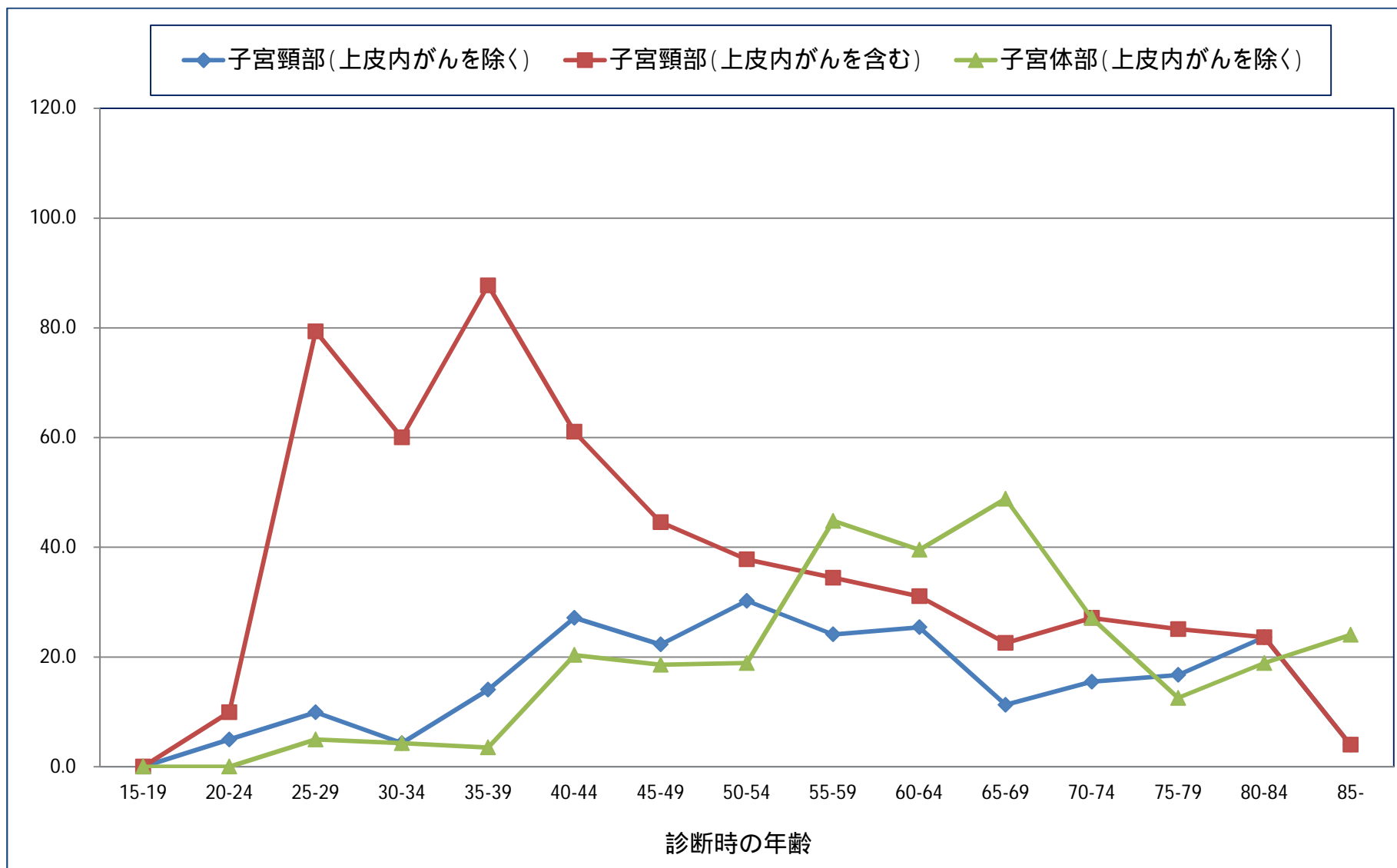


乳がん(女性)

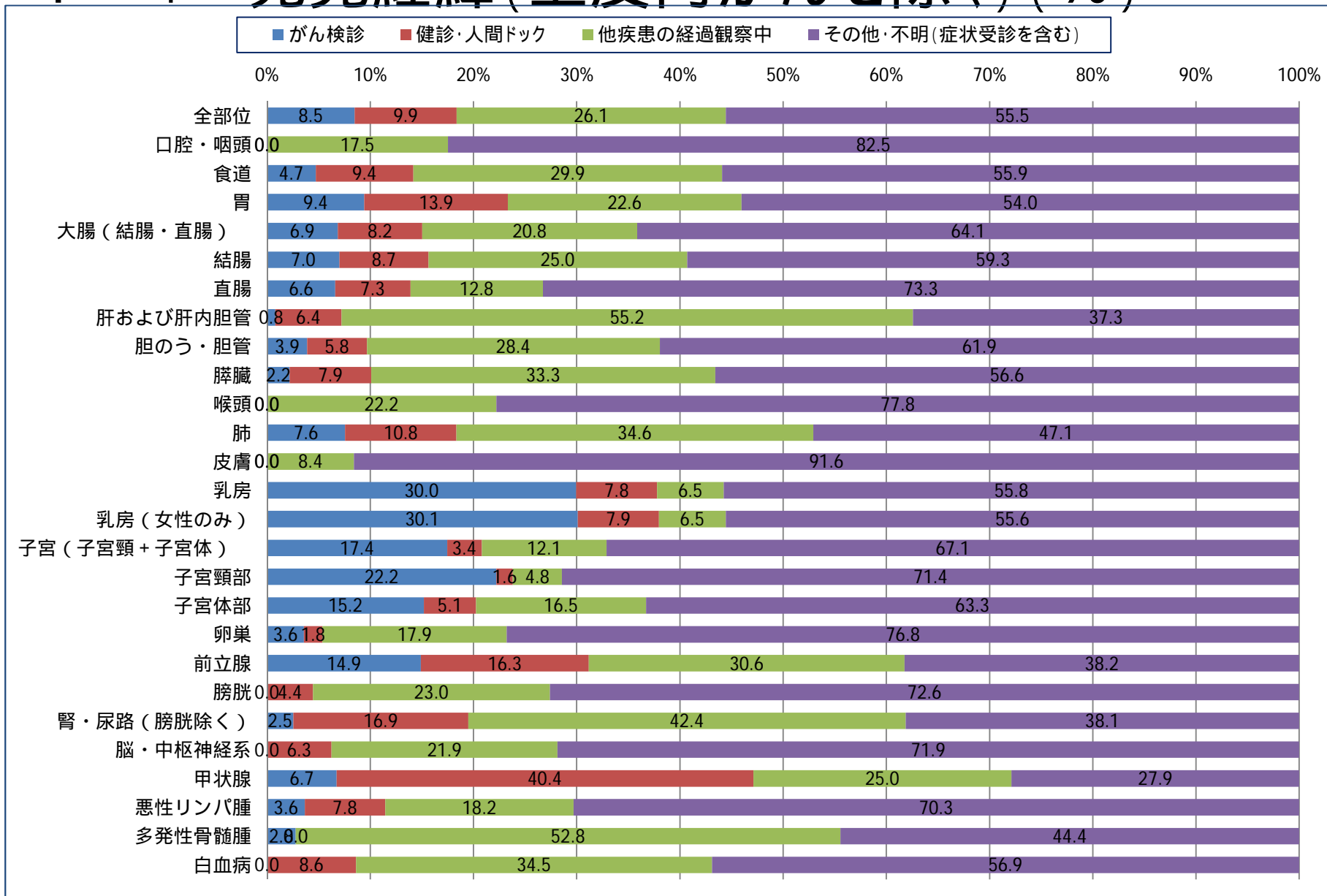


E - 6 部位別年齢階級別罹患率(人口10万対)

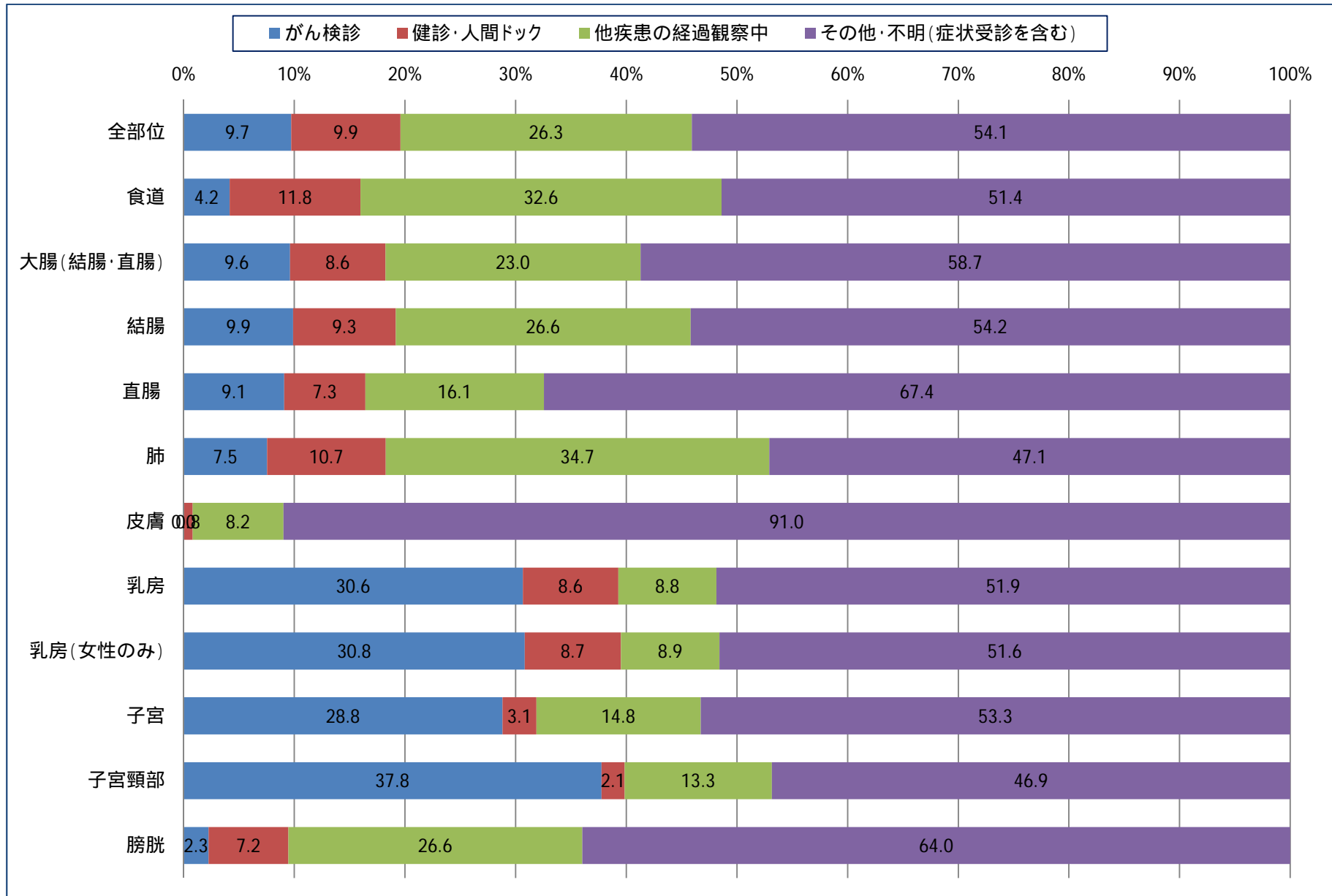
子宮(子宮頸部・子宮体部)がん



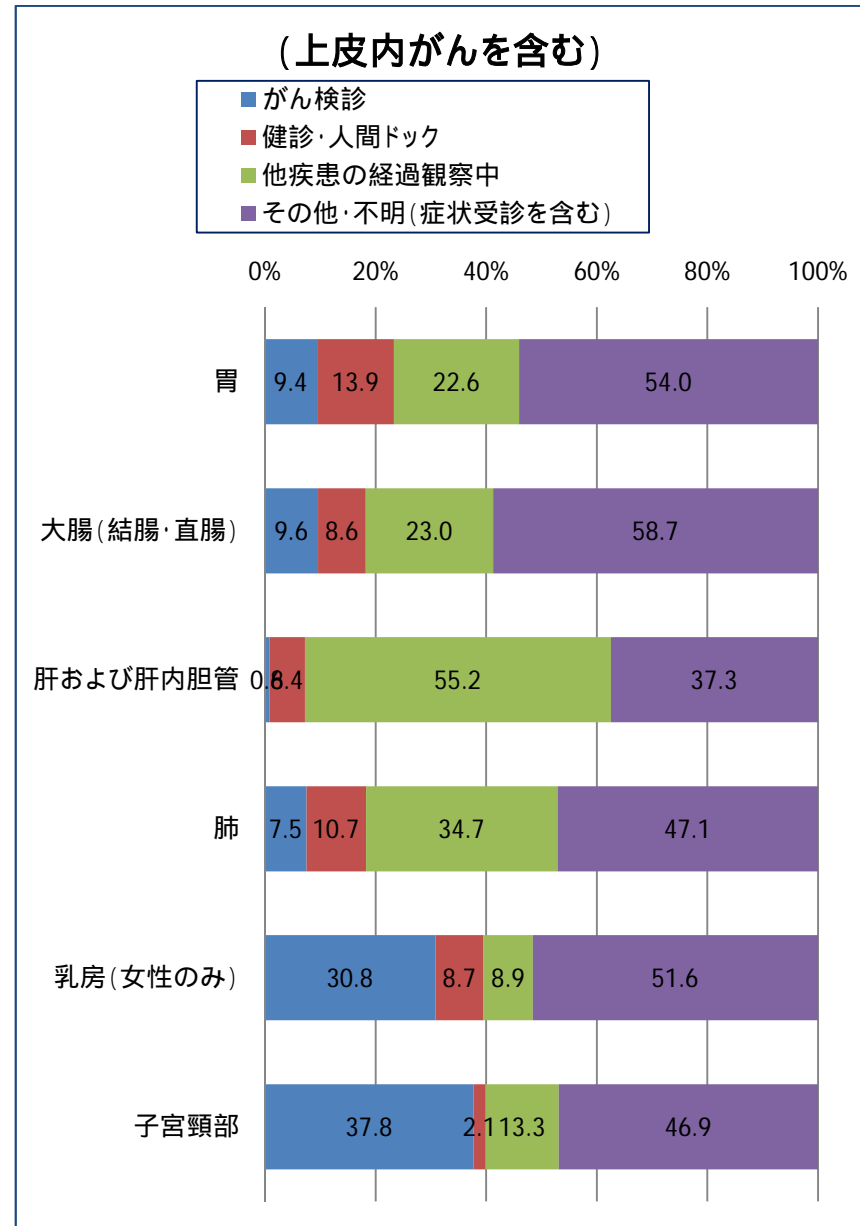
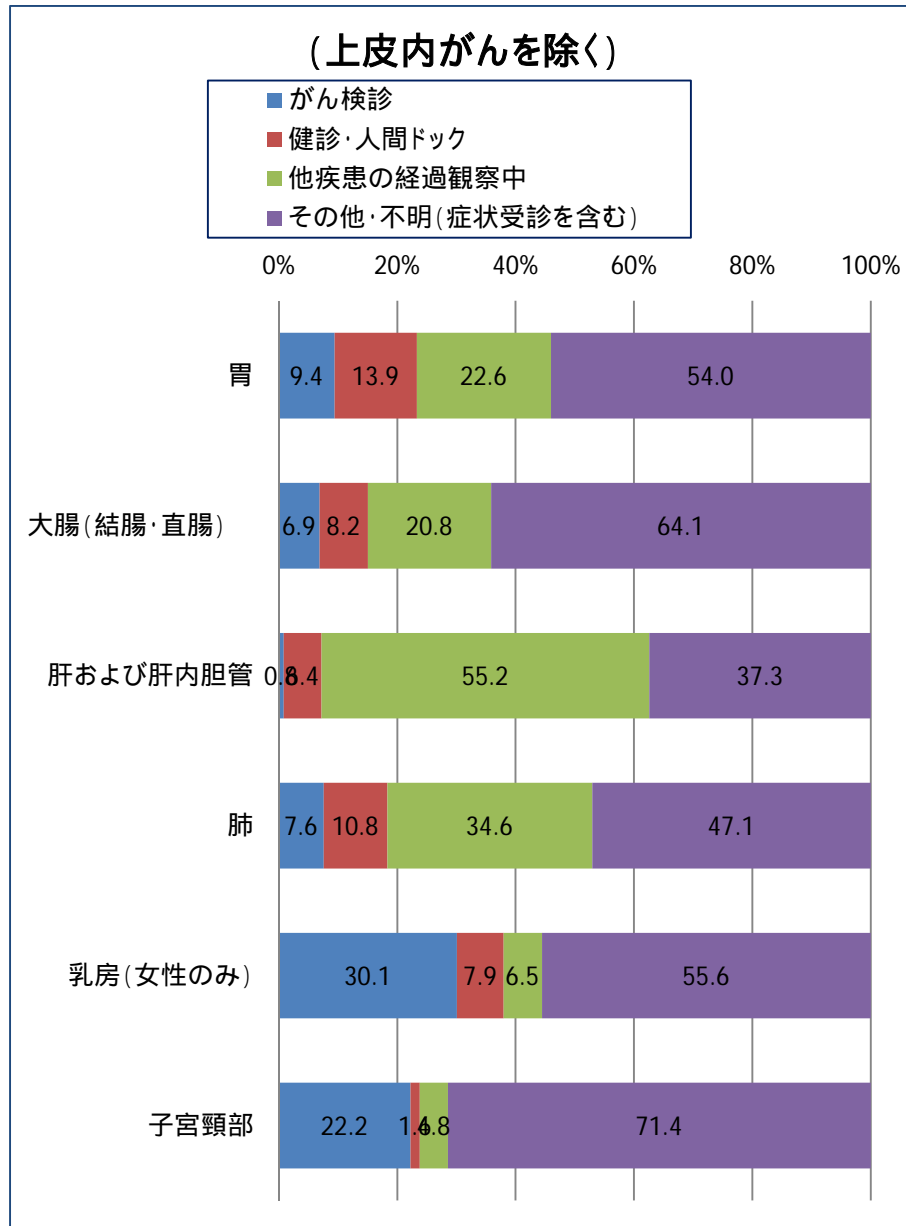
F - 1 発見経緯 (上皮内がんを除く) (%)



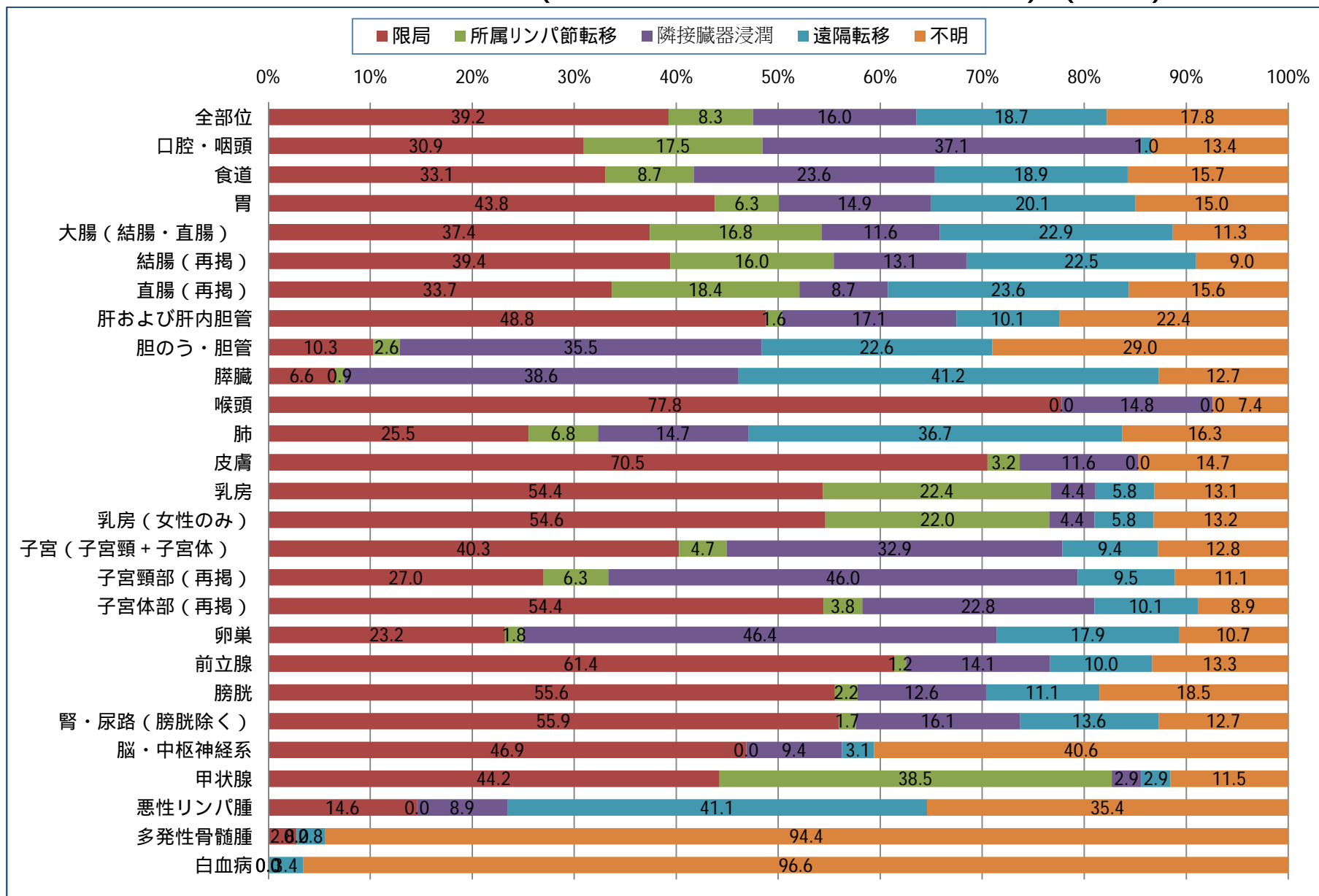
F - 2 発見経緯(上皮内がんを含む)(%)



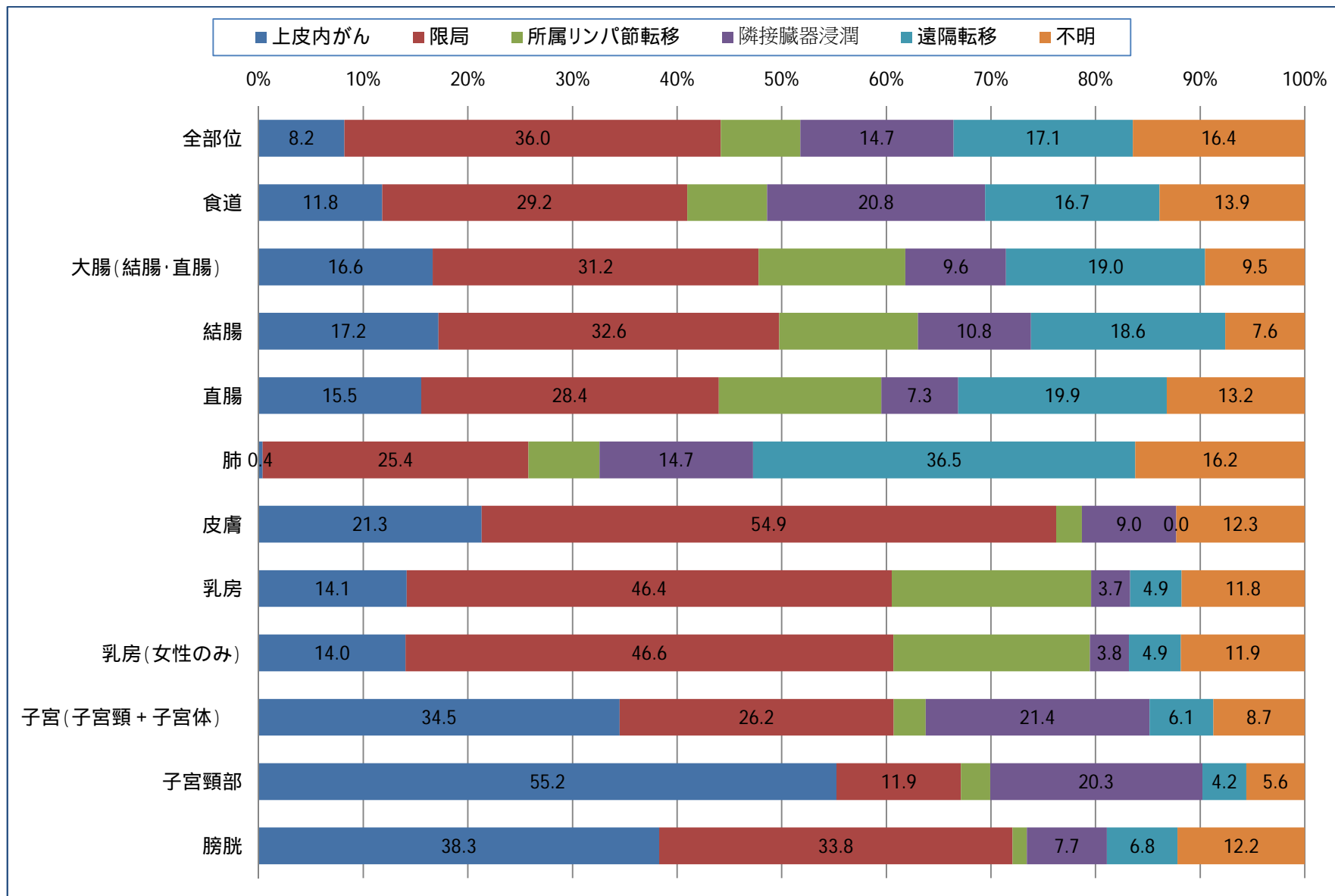
F - 3 発見経緯 (5大がん + 肝がん) (%)



G - 1 臨床進行度(上皮内がんを除く)(%)



G - 2 臨床進行度(上皮内がんを含む)(%)



データの精度

- 山梨県のデータ精度はMCIJ掲載基準を満たしている。
- 全国に比べDCNは高いが、DCOは低く、精度は高い。

	IM比		DCN		DCO	
	上皮内除く	上皮内含む	上皮内除く	上皮内含む	上皮内除く	上皮内含む
MCIJ掲載基準	1.5以上		30%未満		25%未満	
2008年	2.34	—	29.8	28.1	11.8	11.1
2009年	2.46	2.63	25.1	23.5	10.2	9.6
2010年	2.31	2.50	23.4	21.6	10.6	9.8
MCIJ(基準A) * 推計値採用基準	2.0以上		20%未満		10%未満	
2011年	2.23	2.41	21.0	19.4	8.4	7.7

- MCIJ: 全国がん罹患モニタリング集計
- IM比: 罹患数と死亡数の比
- DCN: death certificate notifications 死亡診断書で初めて把握されたがん症例
- DCO: death certificate only 死亡診断書以外の情報がない症例

まとめ

1. 罹患数

山梨県での、2011年の1年間のがん罹患数は5,658件

男性:3,282件 女性:2,376件

2010年の罹患数と単純に比較すると、男性では57件減少、女性では49件増加し、全体で8件の減少がみられた。

2008年以降、罹患数は5,700件前後で推移している。

	2008年(確定値)	2009年(確定値)	2010年(確定値)	2011年(確定値)
全体	5,755	5,722	5,666	5,658
男性	3,366	3,348	3,339	3,282
女性	2,389	2,374	2,327	2,376

注：地域がん登録は1腫瘍1登録であり、多重がんもあるため「がん罹患人数」ではない

まとめ

2. 部位別罹患数・罹患割合

1位が「大腸(結腸+直腸)」869件、2位が「胃」814件、3位が「肺」600件となっている。2010年と比べ、順位は変わらない。2010年の罹患数と比べ増加したのは、54件増の「膵臓」、53件増の「悪性リンパ腫」、35件増の「大腸」であった。減少したのは、45件減の「肺」・「肝および肝内胆管」、35件減の「胆のう・胆管」であった。

	2008年		2009年		2010年		2011年	
	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)	部位	罹患数(割合)
1位	大腸	918(16.0%)	胃	887(15.5%)	大腸	834(14.7%)	大腸	869(15.4%)
2位	胃	859(14.9%)	大腸	864(15.1%)	胃	827(14.6%)	胃	814(14.4%)
3位	肺	676(11.7%)	肺	662(11.6%)	肺	645(11.4%)	肺	600(10.6%)

まとめ

3. 男女別罹患数順位

男性は、「前立腺」541件、「胃」538件、「大腸」492件、「肺」410件、「肝および肝内胆管」284件の順であった。

2010年の罹患数と単純に比較すると、増減が大きかったのは、30件増の「前立腺」・「膵臓」、16件増の「悪性リンパ腫」、33件減の「肺」・「肝および肝内胆管」、29件減の「食道」であった。

女性は「乳房」453件、「大腸」377件、「胃」276件、「肺」190件の順であった。

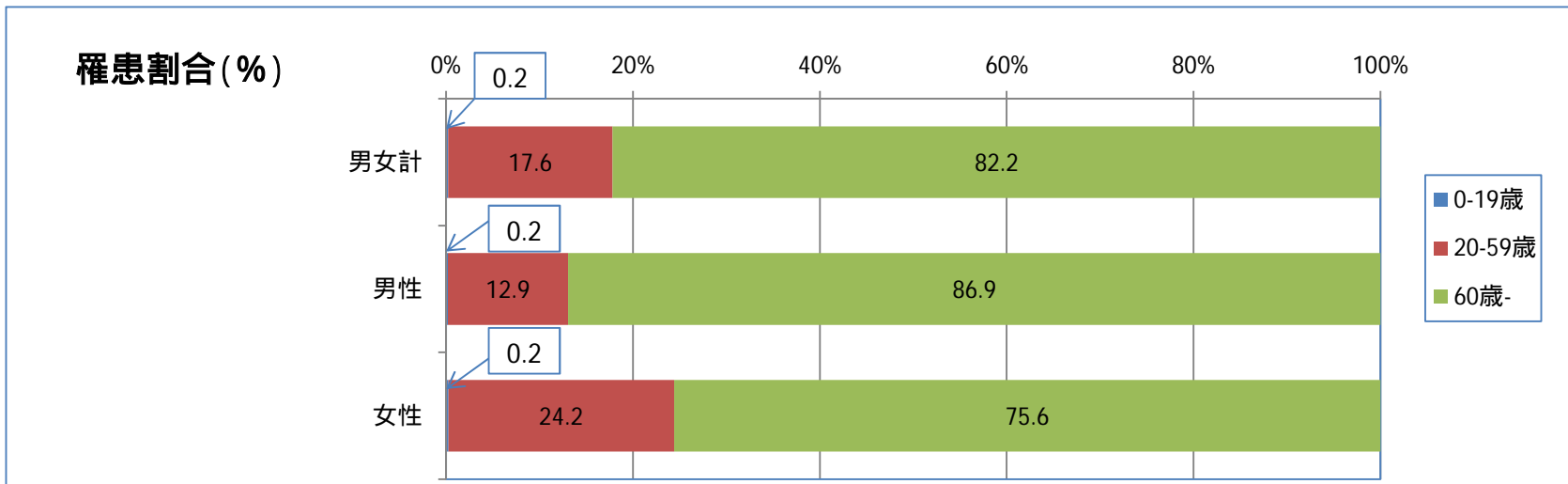
2010年の罹患数と単純に比較すると、増減が大きかったのは、37件増の「悪性リンパ腫」、30件増の「大腸」、41件減の「胆のう・胆管」、12件減の「肺」・「肝および肝内胆管」であった。

男性	2008年	2009年	2010年	2011年	女性	2008年	2009年	2010年	2011年
1位	胃	胃	胃	前立腺	1位	乳房	乳房	乳房	乳房
2位	大腸	前立腺	前立腺	胃	2位	大腸	大腸	大腸	大腸
3位	肺	大腸	大腸	大腸	3位	胃	胃	胃	胃

まとめ

4. 年齢階級別・男女別罹患数、罹患割合

年齢別にみると、60歳以上が、4,649件で全年齢の82.2%を占め、就労年齢の多い20 - 59歳は、997件(17.6%)となっている。男性では、60歳以上が、2,853件(86.9%)、20 - 59歳が、423件(12.9%)となっている。女性では、60歳以上が、1,796件(75.6%)、20 - 59歳が、574件(24.2%)となっている。



まとめ

5 . 年齢階級別罹患率

男性は50歳代後半から罹患率が急激に上昇し、その後も加齢に伴い上昇している。

女性は、乳がん及び子宮頸がんの罹患が、20～30歳代から高くなることから、20歳～40歳代までは男性より罹患率が高い。50歳代で男性の罹患率と交差し、その後は緩やかに増加する。

臓器別にみると、男性は、40歳代から大腸、50歳代後半からどの臓器の罹患率も増加している。

女性では子宮頸がんが20歳代後半から急激に上昇し、30歳代後半でピークとなる。

また、乳がんは30歳代後半から急上昇し、40歳代でピークとなる。子宮頸がんと乳がんは、若い世代に罹患率が高い特徴がある。

まとめ

6. 臓器別発見経緯

発見経緯は、全部位で「がん検診」8.5%「健診・人間ドック」9.9%、「他疾患の経過観察中」26.1%、「その他・不明(症状受診含む)」55.5%であった。

「がん検診」と「健診・人間ドック」による発見を合わせると18.4%が健診等で発見されたものであった。この比率は年々高くなっている。健診等で発見されたものを臓器別にみると、「甲状腺」47.1%、「乳房」37.8%、「前立腺」31.2%、「子宮頸がん」23.8%、「胃」23.3%の順であった。

「上皮内がんを含む」発見経緯では、「子宮頸がん」が39.9%、「乳房」が39.2%で、健診等での発見率が高い。